

「大西町品部川河口のいきもの観察会」

日 時：令和4年10月5日(水)

主 催：愛媛県生物多様性センター、東芝ライテック株式会社

協 力：今治市環境政策課

講 師：小澤 潤(愛媛県植物研究会)、愛媛県生物多様性センター研究員

参加者：今治市立大西小学校第4学年児童

生物多様性に関する興味を高めるとともに、自然やふるさとを大切に思う心を育てることを目的に、環境省によって絶滅危惧Ⅱ類に指定されている「ヒロハマツナ」が自生する品部川河口において地元の小学生(大西小学校)を対象に、植物や生きものの観察会が開催されました。

小学生の皆さんは、干潟の泥土で互いに棲み分け(ゾーニング)をおこなっている環境省の絶滅危惧Ⅱ類植物の「ヒロハマツナ」,「ハママツナ」,「ハマサジ」、釣りの高級餌として扱われている「ニホンスナモグリ」、愛媛県絶滅危惧種の「スナガニ」、環境省の絶滅危惧Ⅱ類に指定されている「ハクセンシオマネキ」などについて実際に見たり触ったりしながら、講師の先生から詳しく分かりやすい説明を受けるとともに、海岸埋立や河川改修が野生動植物に与える影響や、海岸にごみを捨てないなどの大切な心がけを学習していました。





